

平成26年度防衛大学校顕彰碑献花式への参列

11月8日晚秋の気配漂う小原台で、第62回開校記念祭一環としての顕彰碑献花式が厳かに執り行われました。主催者国分学校長をはじめ現役自衛官代表者、永岩同窓会長、各期代表者らが参列し殉職された卒業生、在校中の殉職者等93柱の御霊に哀悼の誠を捧げました。

献花式終了後、参列した同年代の同窓生と「我々の時代にも顕彰碑はあったのかね？もしあったらお参りもせずにかんりの不見識だったんだ」と自戒の念を込めつつ話をいたしました。そのことが杞憂であったことを知ったのは、配布された冊子に、昭和57年防大創立30周年を記念する事業の一環として建設されたとの記事を目にした時でした。我々が在学した昭和39～43年には旧図書館3階にあった顕彰室で慰霊していたことを思い出すひと時でした。

母校訪問の貴重な機会でしたので、顕彰碑と開校祭を迎えた防大の風景を撮影いたしました。入校からの50年の時の流れを思い起こしていただければ幸いです。

12期生会会長

相田 哲彦



防大本館



献花式開始前



献花式での儀仗を待つ防大儀仗隊



新学生舎(1大隊)